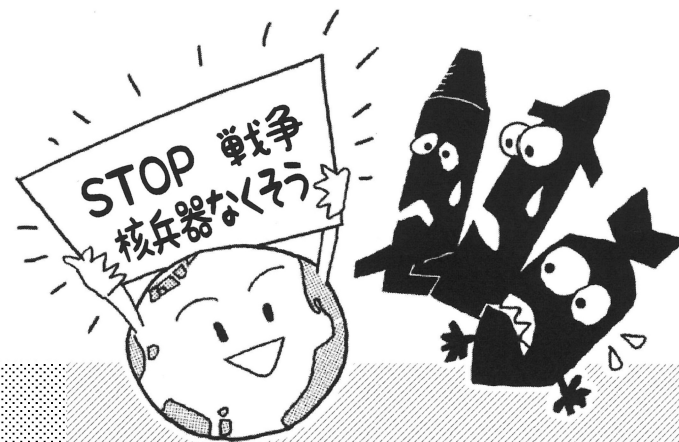


戦後73年目の夏 「戦争しない国」をいつまでも

戦後73年目の夏、あらためて「戦争だけは起こしてはならない」と思われた方も多いでしょう。1945年8月15日に敗戦を迎えた「15年戦争」は、日本国民310万人、アジアの2000万人以上の命を奪いました。その悲しみの上に、「二度と戦争しない」と誓ったのが日本国憲法です。この平和憲法があったから、戦後ずっと、日本は「戦争しない国」を続けてきました。

ところが、「安保関連法＝戦争法」、「共謀罪」法を強行した安倍首相は、「9条」を変えようとしています。「『戦争する国』をめざす安倍改憲ストップ!」の声をあげましょう。



だから 9条を守りたい

被災地支援よりも

「カジノ」最優先の安倍政治NO!

大阪北部地震、西日本豪雨、それに加えて命にかかわるような危険な暑さが列島を襲っています。いま、あらためて、政治の役割が問われています。国民の命と暮らしを守ることにこそ、政治は力をつくさなければなりません。

ところが、豪雨のさなかに総理らは「赤坂自民亭」の大宴会。そして、被災地支援よりも「カジノ法」成立を優先させました。疑惑、ねつ造、隠蔽、改ざん、ウソにウソを塗り重ねる安倍内閣。もう、こんな政治はゴメンです。あたりまえの政治に変えましょう。

安倍9条改憲NO!

「戦争はイヤ」という願いを集めた「3000万人署名」は1500万人を越えました。市民と野党の共同の力が、安倍「改憲」の動きにブレーキをかけています。ところが、安倍首相は「今年中に改憲発議」というシナリオにしがみつき、執念を燃やしています。

安倍首相は、“海外の戦場で武力行使する自衛隊”を憲法9条に書き加え、9条を180度変えて、日本を「戦争する国」にしようとしています。軍事優先の国になり、軍事予算が増やされ、福祉や教育がバツサリ削られる、そんな国にしてよいのでしょうか。

朝鮮半島で平和の動き 9条こそ世界の流れ

6月に米朝首脳会談が史上初めて実現し、「新しい米朝関係」構築と「朝鮮半島の完全な非核化」をめざして、対話と外交による平和のプロセスが始まりました。安倍首相は、「対話は意味がない。圧力だ」、「イージスアショアだ、オスプレイだ」と大騒ぎをして、かえって軍事的緊張を高めてきました。でも、今回の米朝首脳会談は、「国と国との争いは武力では解決しない、対話でこそ解決の道が開かれる」ことを示しました。いま、日本政府に求められているのは、2度と戦争しないと決めた憲法9条を守り生かすことではないでしょうか。

あなたも3000万人署名を